



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,490	—	718	—	758	—	560	—
2021年3月期第2四半期	7,464	△22.1	△239	—	△244	—	△387	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,243百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △350百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	40.32	—
2021年3月期第2四半期	△27.87	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	30,496	24,827	81.4
2021年3月期	27,518	23,667	86.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 24,827百万円 2021年3月期 23,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2022年3月期	—	7.50	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	16.50	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	—	1,650	—	1,680	—	1,100	—	79.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期の連結業績予想に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	14,310,000株	2021年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	409,732株	2021年3月期	409,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	13,900,295株	2021年3月期2Q	13,900,308株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
(1) 販売の状況 (製品別売上高、国内・海外別売上高)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

このため、当第2四半期連結累計期間における経営成績に関する説明は、売上高については前第2四半期連結累計期間と比較しての増減額及び前年同期比（%）を記載せずに説明しております。

詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおりであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州・中国いずれの地域でも、ワクチン接種の進展による経済活動の段階的再開や景気対策の効果により回復の動きが鮮明になっているものの、東南アジアなど一部地域では、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響により経済活動に停滞がみられました。一方、わが国経済は、ワクチン接種が進み、経済活動への制約が徐々に薄らいできたものの、半導体不足やサプライチェーンの混乱解消が遅れ、製造業の生産計画が下方修正されるなど、景気への下押し圧力も強まる傾向にあります。引き続き、感染拡大防止と経済活動の活性化のバランスに配慮した社会行動が求められ、景気回復も緩やかにとどまるものと思われまます。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の販売拡大により前年同期を上回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加しました。また、海外での売上も、米国およびアジア向けを中心に増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は94億9千万円（前年同期は74億6千4百万円）となりました。

利益面につきましては、大幅な増収による売上原価率の改善と昨年に引き続き経費節減に努めたことなどから、営業利益は7億1千8百万円（前年同期は2億3千9百万円の営業損失）、営業外収益として為替差益2千5百万円を計上したことから、経常利益は7億5千8百万円（前年同期は2億4千4百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千万円（前年同期は3億8千7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに増加し、海外向けでは自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は78億9千8百万円（前年同期は56億7百万円）、営業利益は4億1千8百万円（前年同期は3億9千5百万円の営業損失）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物が増加したことから、売上高は13億8千5百万円（前年同期は13億1百万円）、営業利益は1億1千3百万円（前年同期は1億9百万円）となりました。

③ 米国

自動車関連刃物および鋼管関連刃物が増加したことから、売上高は7億1千3百万円（前年同期は5億2千7百万円）、営業利益は4千2百万円（前年同期は3千万円）となりました。

④ 欧州

自動車関連刃物および木工関連刃物が増加したことから、売上高は10億8千1百万円（前年同期は8億7千1百万円）、営業利益は1億1千2百万円（前年同期は6千5百万円）となりました。

⑤ 中国

木工関連刃物および自動車関連刃物が増加したことから、売上高は9億8千7百万円（前年同期は7億3千1百万円）、営業利益は5千8百万円（前年同期は1千1百万円の営業損失）となりました。

⑥ ベトナム

自動車関連刃物および鋼管関連刃物などが増加したことから、売上高は2億4千8百万円（前年同期は1億1千5百万円）、営業利益は4百万円（前年同期は5千1百万円の営業損失）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における流動資産は169億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億7百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が21億6千5百万円増加し、受取手形及び売掛金が4億6百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は135億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減少いたしました。これは投資その他の資産が1億6千4百万円増加したものの、有形固定資産が前連結会計年度末に比べ2億7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は304億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億7千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期末における流動負債は38億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5千9百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3億7千3百万円増加し、流動負債その他が1億9千7百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は18億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千8百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が10億7百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は56億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億1千8百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産合計は248億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億5千9百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が5億8千7百万円増加し、利益剰余金が4億7千7百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.4%（前連結会計年度末は86.0%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億6千5百万円増加し、当第2四半期末には70億8千8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13億8千3百万円（前年同期比28.1%増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益7億5千8百万円、減価償却費8億1千万円、その他3億8千6百万円であります。支出の主な内訳は、売上債権の増加3億8千7百万円、棚卸資産の増加2億3千1百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億2千9百万円（前年同期比55.4%減）となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出2億1千6百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は8億8千万円（前年同期は1億5千5百万円の使用）となりました。これは、主として長期借入れによる収入9億9千万円であります。支出の主な内訳は、配当金の支払額8千3百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年8月6日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

連結売上高187億円、営業利益16億5千万円、経常利益16億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益11億円を見込んでおります。

なお、通期の業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル=110円、1ユーロ=131円を想定しています。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,923,103	7,088,175
受取手形及び売掛金	3,232,821	3,639,445
電子記録債権	856,347	944,726
商品及び製品	2,215,966	2,272,660
仕掛品	880,874	1,008,659
原材料及び貯蔵品	1,385,164	1,578,924
その他	422,157	390,407
貸倒引当金	△15,146	△13,842
流動資産合計	13,901,289	16,909,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,297,596	4,226,409
機械装置及び運搬具(純額)	4,968,156	4,740,376
その他(純額)	2,641,049	2,732,259
有形固定資産合計	11,906,802	11,699,045
無形固定資産	784,731	798,586
投資その他の資産	925,218	1,089,568
固定資産合計	13,616,752	13,587,200
資産合計	27,518,042	30,496,358

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,327,090	1,700,888
電子記録債務	221,118	288,339
未払法人税等	104,671	192,528
賞与引当金	357,818	391,441
その他	1,034,744	1,232,235
流動負債合計	3,045,442	3,805,433
固定負債		
長期借入金	—	1,007,280
退職給付に係る負債	274,713	308,850
その他	530,134	547,394
固定負債合計	804,848	1,863,525
負債合計	3,850,290	5,668,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	19,451,992	19,929,007
自己株式	△208,743	△208,768
株主資本合計	23,553,639	24,030,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311,924	402,600
為替換算調整勘定	△159,323	428,247
退職給付に係る調整累計額	△38,488	△34,077
その他の包括利益累計額合計	114,112	796,769
純資産合計	23,667,751	24,827,398
負債純資産合計	27,518,042	30,496,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	7,464,992	9,490,841
売上原価	5,597,583	6,562,740
売上総利益	1,867,409	2,928,100
販売費及び一般管理費	2,107,042	2,209,799
営業利益又は営業損失(△)	△239,632	718,301
営業外収益		
受取利息	1,812	4,022
受取配当金	10,474	11,006
為替差益	—	25,098
デリバティブ評価益	747	—
助成金収入	130,297	—
その他	6,755	5,675
営業外収益合計	150,088	45,802
営業外費用		
支払利息	—	2,147
売上割引	20,174	—
為替差損	133,898	—
デリバティブ評価損	—	2,465
その他	1,009	1,081
営業外費用合計	155,082	5,693
経常利益又は経常損失(△)	△244,626	758,409
特別利益		
固定資産売却益	326	1,036
特別利益合計	326	1,036
特別損失		
固定資産売却損	94	—
固定資産除却損	2,036	799
特別損失合計	2,131	799
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△246,431	758,646
法人税等	141,027	198,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△387,459	560,416
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△387,459	560,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△387,459	560,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149,138	90,675
為替換算調整勘定	△131,027	587,570
退職給付に係る調整額	19,157	4,411
その他の包括利益合計	37,268	682,657
四半期包括利益	△350,191	1,243,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△350,191	1,243,074
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△246,431	758,646
減価償却費	849,189	810,197
賞与引当金の増減額(△は減少)	△57,539	30,420
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31,257	△2,216
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,664	15,144
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△24,835
受取利息及び受取配当金	△12,287	△15,028
支払利息	—	2,147
為替差損益(△は益)	76,302	45,311
固定資産売却損益(△は益)	△231	△1,036
売上債権の増減額(△は増加)	978,928	△387,041
棚卸資産の増減額(△は増加)	△127,253	△231,360
仕入債務の増減額(△は減少)	△466,185	281,231
未払又は未収消費税等の増減額	△10,569	△174,153
その他	208,442	386,028
小計	1,164,770	1,493,453
利息及び配当金の受取額	12,287	15,028
利息の支払額	—	△1,715
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△97,084	△123,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,079,973	1,383,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△471,436	△216,926
有形固定資産の売却による収入	457	1,429
有形固定資産の除却による支出	△2,036	△560
無形固定資産の取得による支出	△33,223	△3,435
投資有価証券の取得による支出	△5,354	△6,556
貸付けによる支出	△3,723	△3,904
貸付金の回収による収入	458	528
投資活動によるキャッシュ・フロー	△514,858	△229,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	990,000
リース債務の返済による支出	△23,289	△25,872
自己株式の取得による支出	—	△25
配当金の支払額	△132,052	△83,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155,342	880,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,214	130,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,558	2,165,071
現金及び現金同等物の期首残高	3,104,511	4,923,103
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,485,070	7,088,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来、顧客に支払われる対価の一部を販売手数料として販売費及び一般管理費に、売上割引として営業外費用に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42,110千円減少し、営業利益は21,275千円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
外部顧客への 売上高	4,524,363	841,443	527,864	871,831	370,071	66,783	7,202,358
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,083,367	459,879	26	—	361,689	48,667	1,953,630
計	5,607,730	1,301,323	527,890	871,831	731,760	115,451	9,155,988
セグメント利益 又は損失(△)	△395,398	109,106	30,731	65,734	△11,294	△51,472	△252,594

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	262,634	7,464,992	—	7,464,992
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	90	1,953,720	△1,953,720	—
計	262,724	9,418,712	△1,953,720	7,464,992
セグメント利益 又は損失(△)	2,286	△250,307	10,675	△239,632

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額10,675千円には、セグメント間取引消去8,979千円、棚卸資産の調整額2,567千円、その他△871千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	ベトナム	計
売上高							
平刃類	2,023,455	920,683	144,664	283,636	206,801	12,339	3,591,579
精密刃具類	1,812,687	80,295	34,576	29,479	33,658	7,401	1,998,099
丸鋸類	3,734,566	340,093	520,480	767,077	740,280	228,187	6,330,686
商品他	327,931	44,085	13,632	1,384	7,216	597	394,847
顧客との契約から生じる収益	7,898,641	1,385,158	713,353	1,081,577	987,955	248,525	12,315,213
外部顧客への売上高	5,680,547	900,117	713,289	1,081,577	494,214	83,911	8,953,658
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,218,094	485,041	64	—	493,741	164,613	3,361,555
計	7,898,641	1,385,158	713,353	1,081,577	987,955	248,525	12,315,213
セグメント利益	418,336	113,329	42,560	112,769	58,845	4,834	750,675

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	66,083	3,657,663	△693,891	2,963,771
精密刃具類	19,940	2,018,039	△106,890	1,911,149
丸鋸類	440,343	6,771,030	△2,283,640	4,487,389
商品他	12,630	407,477	△278,947	128,529
顧客との契約から生じる収益	538,997	12,854,210	△3,363,369	9,490,841
外部顧客への売上高	537,183	9,490,841	—	9,490,841
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,814	3,363,369	△3,363,369	—
計	538,997	12,854,210	△3,363,369	9,490,841
セグメント利益	64,937	815,612	△97,311	718,301

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△97,311千円には、セグメント間取引消去27,718千円、棚卸資産の調整額△118,311千円、その他△6,718千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		2022年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
平 刃 類	2,478	33.2	2,963	31.2	5,890	31.3
精 密 刃 具 類	1,612	21.6	1,911	20.1	3,760	20.1
丸 鋸 類	3,267	43.8	4,487	47.3	8,830	47.2
商 品	107	1.4	128	1.4	220	1.4
合 計	7,464	100.0	9,490	100.0	18,700	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第2四半期実績		当第2四半期実績		2022年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
国 内	4,154	55.7	5,048	53.2	9,700	51.9
海 外	3,310	44.3	4,441	46.8	9,000	48.1
ア ジ ア	1,559	20.9	2,070	21.8	4,260	22.8
ア メ リ カ	774	10.4	1,184	12.5	2,110	11.3
ヨ ー ロ ッ パ	925	12.3	1,116	11.8	2,490	13.3
そ の 他	50	0.7	70	0.7	140	0.7
合 計	7,464	100.0	9,490	100.0	18,700	100.0